



ミニデイサービス便り

久しぶりの保育園

9カ月振りになつかしい所に帰って来た。工事中だった研修南保育園が見違えるよう。立派に、美しく、優しく、夢多い遊戯室に姿を変えて私達を迎えて下さった。

迎えて下さったのは建物だけではなく、園長先生はじめ先生方や園児たち。以前と変わらぬ笑顔でご挨拶をいただいた。

「まあ、元気な姿でお目にかかれて。よく来て下さった」園長先生の笑顔に利用者さんも「またお世話になります。よろしく」運動場から「あっ、まごころさんだ」と園児の声。

お借りする遊戯室の隣が乳児のお部屋。よちよちと歩いて挨拶に来てくれた。

「かわいいねー」握手やらほほずりやら。車椅子の方のための広いトイレまで用意されていた。本当に感謝である。

保育園ははじめてのKさん。リハビリに歩行訓練も十分できるスペースにご機嫌な笑顔。

競り上がりの舞台上でピアノ演奏のHさん、Oさん、Kさん、これ以上いい顔がないというくらい嬉しそう。

食事の準備も皆さんの顔が見えるところに戻った。ワンフロアで一緒。匂いを嗅ぎながら昼食のリクエストがあがる。

言葉を掛け合いながら和気あいあいだ。広いスペースはいいですね・・・。

研修南保育園の皆さん！
よろしくお願い致します。

☆5月のミニデイサービス

研修南保育園 5/18 事務所 5/4、11、25

☂☂ 6月の定例会は ☂☂

6月5日(月) 午前の部 9時～12時
午後の部 1時～4時

- ◆定例会及びケア検討会、勉強会
- ◆ワーカーさんは必ずどちらかにご出席下さい。

「今日、今が助けてもらいたい。一日でいいから」介護者が介護疲れで、我慢の限度をこえてしまわれた様子。何とか食事を寝たきりの家族にさせてほしい、という事だった。例のごとく一日でも年会費が必要な当会だが、疲れた方に電話で説明もはばかられる。とりあえず伺うことになった。コーデインターがエプロンを持って走った。案の定、ご家族三人ふせておられた。冷蔵庫にあるもので夕食をお作りし、食事の介助をさせて頂いた。安心下さった様子だったが、これからは一人の介護者がお二人を介護されていくことは又同じようなことの繰り返しではと思われる。社会的支援を受けられる準備を始められているようだ。SOSの対応は不可欠、というケアでした。

ケア活動から

介護者が倒れた

3月 会員登録状況	
協力会員	53人
利用会員	82人
賛助会員	159人
計	294人

3月活動状況	
在宅 活動件数	40件
活動人数	23人
活動時間	631時間
ミニデイサービス利用者数	35人
移送サービス利用件数	37件

5月の予定

- 1日(月) 会報「まごころ」発行 定例会
- 4日(木) ミニデイサービス (場所・事務所) 鈴木、平子
- 8日(月) 一宮ボランティア
- 10日(水) 運営委員各部会
- 11日(木) ミニデイサービス (場所・事務所) 一宮ボランティア 大橋、宮田 谷、小木曾
- 15日(月) 一宮ボランティア
- 17日(水) 運営委員各部会
- 18日(木) ミニデイサービス (場所・保育園) 一宮ボランティア 田中、塚本 岩田、片山
- 22日(月) 一宮ボランティア
- 24日(水) 運営委員各部会
- 25日(木) ミニデイサービス (場所・事務所) 一宮ボランティア 野田、倉知 当事務所 安藤、小出
- 28日(日) 県内NPO法人代表者会議
- 29日(月) 一宮ボランティア
- 31日(水) 理事会

感謝
この度、K氏からご寄付をいただきました。ありがとうございます。会の為に大切に使用させていただきます。

聴心器

「ペット喪失症候群」

加固 俊男

少し前まで、犬や猫の多くは半ば実用目的で飼われていたようだ。

犬は、音量調節の壊れたアラームのように侵入者にうるさく吠え続けるスピッツが好まれ、猫は黒い猫でも白い猫でもネズミを捕るのが良い猫(登小平語録)とされた。だが、子供の視線は大人の思惑とは異なり、これらの動物たちを厳然たる主従関係を保つペットとして認識していた。大家族制度が残っていた時代には、ペットとしての存在は子供の下でのみ許されていたのではないだろうか。子供はペットの親として餌を与えたり、躑をしたり、そしてその死にも直面した。子供にとってペットの死は悲しいことになりはしないが、その喪失感に新たな期待感によって充分埋めあわせることができた。

時が流れ、今やペットは大人のものとなり、ブランド化してきた。それは大家族制度の崩壊と無縁ではなさそうである。核家族制のもとでは、子供の独立によっていきなり希薄化してしまう所在感の代償として、あるいは核家族制に内在する虚ろな人間関係を糊塗するかのようになり、大人たちは自らペットを欲求する。だから、ペットには成長は望まれようもなく、まして、自分より先立たれてはいけないのである。ペットとの死別の悲しみを子供のようには器用には埋め合わせることができそうもないのだ。

ペットロボット(ロボット犬のようなものを指す)は不老不死の存在としてこうした時代を背景に生まれてきた。そして、究極のペットロボット「どらえもん」をめざしてさらなる進化のための研究が続けられている。

ペットロボットを不気味、あるいは無味乾燥だと思う人はそれなりに健全で結構なことであるだろう。だが、ペット喪失症候群に陥りそうな人達には福音であるに違いない、...、と思うのは私だけであろうか。(加固内科クリニック院長)

関 覧

「まごころ」では特定非営利活動法人として会の定款、就業規則、給与規定、ケア心得、緊急対応マニュアルなど作成しています。

併せて介護保険事業「まごころ訪問介護事業所」の事業所運営規定、就業規則、利用者さんとの契約書、重要事項説明書、ワーカーさんとの雇用契約書など用意しています。

平成11年度の事業・活動報告書、収支決算書、平成12年度事業・活動計画書・収支予算書などもいつでも閲覧下さい。

福祉用具リサイクル情報案内

- ◆「譲りたいたい情報」
- ◆シャワー用車椅子 1台
- ◆シャワーチェア 2台
- ◆手すり(洋式トイレ用)
- ◆歩行器
- ◆「譲りました情報」
- ◆車椅子 1台